

整備内容及び利用状況

遊歩道整備 L=1,100m W=2.0~2.5m



県道小野郡山線の状況

県道小野郡山線への歩道整備が困難であったため、県道と平行している黒石川の堤防を遊歩道として整備しました。



黒石川の堤防を遊歩道として整備

利用状況

- ・地域の人々の散策や通学、歌舞伎公演の際には多くの人出でにぎわっています。
- ・沿道清掃作業を通して、地域住民のコミュニティの醸成に寄与しています。
- ・遊歩道利用者： 80人/日

(利用者の声)

- 車が通行しないので安全に歩けます。夜間は暗くて歩きにくいので照明の数を増やしてほしいです。
- 児童の通学路としても安全で、老人の日常の歩行にも最適です。特に災害時には大変助かると思います。
- 柳橋地区の道路は狭いので、これから老人の方々が散歩するのに大変良いと思います。

管理状況

柳橋町内会と管理協定を締結。定期的に美化活動を実施しています。

サイン整備



道路標識板に添加

スムーズに目的地へ着けるようにするために、サインを整備しました。



紅枝垂れ地蔵桜

関係機関

- 福島県県中建設事務所 企画調査課
- 郡山市中田行政センター
- 中田地域振興協議会
- 柳橋町内会

TEL : 024-935-1449
TEL : 024-973-2111

「柳橋歌舞伎伝承館」へのアクセス路として
河川堤防を快適で安全な歩行空間として整備

県中-1

郡山市中田地区

郡山市

県中建設事務所
計画期間：H17~H20

地域づくりの方針

- 豊かな自然、伝統芸能、伝統工芸を活用しつつ、地域住民が誇りを持って、“住んでよい里山”と実感できる地域づくり
- 「ゆっくり(スローライフ)」、「回す(循環)」、「つなぐ(ネットワーク)」をキーワードとして、交流と伝承を重視した“ふるさと”が体感できる地域づくり

主な事業内容

県道小野郡山線への歩道整備が困難であったため、県道と平行している

黒石川の堤防を遊歩道

として整備しました。



事業概要図



地域の現状

雑木林や田圃、集落が一体となった里山の環境を多く残す当地には、不動桜や紅枝垂地蔵桜等の著名な桜とともに、古くから息づく柳橋歌舞伎などの伝統芸能、海老根和紙などの伝統工芸といった地域に根ざした文化があります。

“あぶくまらしさ”ともいべきこれらの伝統芸能、伝統工芸を地域全体で保存・継承し、世代間交流を図り、人と土地との密接なつながりを立体的に表現する農村景観保持のため、地区住民が一丸となって、地域づくりに取り組んでいく必要があります。

地域づくりのあゆみ

- | | |
|-------|--|
| 平成16年 | ・「地域資源現地調査及び懇談会」を開催。（地域住民と地域資源の再発見を行った。）
・地域資源を活用したまちづくりについて、「地域づくり懇談会」で意見交換を行った。 |
| 平成17年 | ・地域づくりとして、「伝統文化」と「食」の2つの視点で講演形式のセミナーを開催。
・地域資源の掘り起こし、地域づくりの実践について地域づくり勉強会を実施。 |
| 平成18年 | ・中田町柳橋地内の黒石川への遊歩道整備について意見交換会を開催し、皆の同意を得られた。
・遊歩道の名前が「黒石川遊歩道」に決定。
・「黒石川及び黒石夢歩道の美化活動に関する管理協定」を柳橋町内会と県中建設事務所が締結。 |
| 平成19年 | ・黒石川及び黒石夢歩道の第一回目の清掃活動を約50名の参加者により実施。
・「中田お宝マップ」で紹介した地域資源を巡る「中田バスツアー」を実施。（中田地域振興協議会）
・中田町柳橋地区の地域振興を検討する組織として「柳橋地域振興検討会」が組織。 |
| 平成20年 | ・黒石夢歩道に隣接した土地に、地域自らの発意によって公園を整備することを計画。
・「柳橋歌舞伎」を盛り上げるため、歌舞伎の紙芝居を作成。先進地視察。 |

地域づくりを進めてきた中での課題及び解決策

（県担当者）

■最も重要視したのは、県が目指す地域づくりの真の理念を地元で理解していただくことでした。中田地区内を通る県道は急勾配や急カーブの箇所が多く、以前から改築・改良への要望が根強く、当初は、県が支援する地域づくりが「県道の改築にどのように結び付くのか」という期待を常に持たれた形でのお付き合いでした。

地元で懇談や討議をすると必ずと言ってよいほど「県道」の話が出ます。その地域に住んでいる方のことを考えれば、お気持ちは理解はできるのですが、単にインフラ整備を目標に地域づくり活動を促すことは本意でなかったし、「ないものさがし」をやめて、「中田にある素晴らしいものを見直そう」と、事あるごとによく訴えました。

実施した感想

（県担当者）

■本地区は、地域づくりに取り組む意欲は、自他共に認める県内の先進地で、現在の地域の姿にとどまることなく絶えず発展しようとする気持ちがあり、何か一つのことを成し遂げようとするとき、みんなの勢いで盛り上げられる気風がありとてもすばらしく思います。このまま地域づくり活動を進めていって欲しいと思います。

（柳橋町内会長 古川一郎さん）

■県道は、人家連担地区で歩道がなかったため、今回の遊歩道整備は、通学者や健康増進の散歩に非常に喜ばれています。また、ベンチが所々にもうけてあるので、地域コミュニティーの創出に一役買っています。

■50回以上続く中田町民駅伝時のコースに、夢歩道が今年から組み入れられました。ランナーはもちろん応援者からも非常に好評を得ました。

■維持管理については、町内会役員・老人会・子供育成会・消防団・ボランティアなど多くの団体に協力してもらっています。

■元気ふくしま事業で作った夢歩道の維持管理などを通して、地域への愛着が増してきました。活動を通して他団体交流も活発になりました。

事業の効果

■地域資源の磨き上げと愛着の醸成

黒石川の遊歩道では、柳橋町内会が美化活動及び緑化活動に関する県との管理協定に基づき、花壇づくりや清掃など、ボランティア活動を活発に実施しています。

また、地元御館小の児童が、総合学習の一環として「遊歩道に素敵な名前を付けようプロジェクト」を立ち上げ、郷土史の学習や地域へのアンケートを踏まえ「黒石夢歩道」と名付けるなど、地元が一体となって「地域を磨く」活動に取り組んでいます。

小学生によるボランティア活動



柳橋歌舞伎保存会による上演



■伝統芸能の伝承

- ・毎年9月第3日曜日柳橋歌舞伎伝承館「黒石荘」にて上演
- 柳橋歌舞伎定期講演会
整備前(H18.9.17) 650人
⇒ 整備後(H19.9.16) 1,200人
- 遊歩道利用者
80人/日

■地場産品振興による地域活性化と交流人口の拡大

これまで町内のイベントであった「中田ふるさと祭り」を、「おもてなし」や「情報発信」の実践イベントとして取り組み、案内チラシや報道機関を通じてPRに努めた結果、例年の2倍以上となる約1,200名が訪れました。現在は、地域が中心となり、中田町生産物直売所を設置しました。

中田町生産物直売所



元気づくりの立役者たち

不動桜



紅枝垂れ地蔵桜



柳橋歌舞伎



三匹獅子舞



地域の課題・今後の展望

（柳橋町内会長古川一郎さん）

地域の展望としては、今後の高齢化社会の到来に向けて、明るい老後が送れるような“まち”をつくっていききたいため、介護施設や人に優しい町、グランドゴルフ場などのレクリエーション施設などを作り上げていきたいと考えております。

地域住民により、『みんなの舞の里公園づくり事業』を展開中です。

地域に住む人が住みやすい“まち”であるために、封建的な地域のしきたりの簡素化や若い世代が住みやすいと思える町の仕組み作りを進めていきます。



□柳橋・舞の里公園計画イメージ図